

羅東の誓い「二北一心」

北園小 河島靖岳

北園小学校30名（太陽っ子16名）の交流訪問団は太陽っ子600名の熱いメッセージを、南国台湾の北成国民小學に。

夜遅く着いた台北の空港に、2時間かけて宋校長先生はじめ100名近くの北成小の皆さんが出迎えてくれたのには感激しました。宋校長との出会いでは旧知の友の如く、固くした握手は忘れることはありません。

翌朝、全校児童・職員・保護者やライオンズの人たちや地域の方々2500名以上の熱烈な歓迎に圧倒されました。さらに、北小の校歌を演奏で迎えてくれたのも感激しました。正式な訪問が決定して、僅か3ヶ月足らずにもかかわらず、用意周到、至れり尽くせりの熱烈な歓迎に深い感動をおぼえました。

その熱烈な歓迎に圧倒され、参加した太陽っ子16名は、最初はいささか尻込み加減でしたが、言葉の壁を乗り越えて手振り身振りを交えてのコミュニケーションは、さすが太陽っ子です。交流するうちに、すっかりとうち溶けて、友情の絆を強くしました。お別れ会では、どの子も一回りも二回りも成長した様子でした。日本と台湾の立派な親善大使の役割を十分に発揮しました。同じく参加した保護者の皆さんのナイスサポートも特筆に値します。

別れの日も土曜日にもかかわらず、歓迎の時と同様、全校児童・職員など2500名以上の皆さんに送られて涙、なみだのお別れとなりました。北成小の子ども達も私達のバスが去った後、暫く教室に戻ることが出来ず号泣していたそうです。

この交流で得た何にも替えがたい友情という心の財産を、太陽っ子全員の心の栄養にしたいと思います。

北園と北成は遠く離れていても、熱き心は一つ
羅東の誓い「二北一心」